

代表取締役社長

矢野 彰一氏

深刻化するドライバー不足の時代に 「安全に、楽に、かつこよく」運べる トラックボデーを提供していく

株式会社矢野特殊自動車は、国内シェア3割を占める冷凍車をはじめ、タンクローリや航空機給油車など空港関連車輛、車輛運搬車などを製造する西日本唯一の特装車総合メーカーです。

現存する国産最古の乗用車「アロー号」を製作した創業者のバイオニア精神を受け継いだ高い技術開発力や、M & A による飛躍などを、矢野彰一社長にうかがいました。

創業者精神を受け継ぎ 国産初の特装車輛を次々と開発

—— 御社の歴史では、創業者である矢野倅一氏が製作された現存する国産最古の乗用車「アロー号」が有名です。

矢野 創業者が1916年に製作したアロー号は、国産自動車の第4号です。現在は福岡市博物館に展示保管され、国宝の金印「漢委奴国王」とともに、目玉展示品の一つになっています。2009年には日本機械学会の「機械遺産」第36号に認定されました。東海道新幹線0系電動客車やホンダCVCCエンジンなど、錚々たる機械と肩を並べて認定されたことは大変な名誉だと思っています。

—— 100年以上前に独自の技術で製作されたアロー号の創業者精神は、御社にどのように受け継がれているのでしょうか。

矢野 アロー号は創業者の並々ならぬ苦心と工夫、努力の結晶でした。同時に、忘れてならないことは、依頼くださったお客様や多くの方々の協力に支えられて完成したということです。

当社の歩みでは、戦前の主要事業であったダンプボデーの製作も、現在の主要事業である冷凍車の製造も、お客様からの依頼で当社が国内で初めて開発製造したものです。他にも電気工事作業車、架線工事車など多種多様な特装車を開発製造してきました。現在生産しているのは、冷凍車をはじめタンクローリや航空機給油車、フードローダー（飛行機に機内食を運ぶ車輛）、キャリアトレーラ（車輛運搬車）などですが、全ての車輛がオーダーメイドで、お客様のご要望を聞いて1台ごとに設

計し、製造しています。

「創造への挑戦」「必要は発明の母」という創業者のバイオニア精神が当社の原点であり、持ち込まれた要望はNOと言わずにとにかくやってみる。失敗を恐れず挑戦することと、「一緒にやろう」とチャレンジを共有してくれるお客様に感謝の念を持ち続けることが、創業者の“Yano Spirit”だと考えています。それは今も大切に引き継いでいます。

3つの技術開発・改良パターンで 全国トップレベルの事業に

—— 御社が1958年に国内で初めて製造された冷凍車は、現在でも御社の主力事業で、大型冷凍車の市場シェアは国内約3割と、全国トップクラスを誇っておられます。長年にわたって成長し続けるために、どのような開発をされているのでしょうか。

矢野 製品ライフサイクル（PLC）は30年と言われていますが、冷凍車は市場に登場してから、その倍の60年が経過しようとしています。その間、当社がどのように冷凍車の技術開発・改良を進めてきたのかを振り返りますと、3つのパターンに整理できます。

パターン1は、お客様の依頼・要望に技術で応えるお客様起点の開発です。平成に入ってから代表的な開発事例では、1990年代の初めに大規模スーパー、コンビニの配送が拡大し運送のコスト競争が激化してきた時期に、「耐久性は低下してもいいから軽くて、低価格のボデーが欲しい」というお客様からの要望がありました。そこで開発したのが、従来のアルミ波板パネルから400kg軽

量化し、断熱性能が高い軽量アルミサンドイッチパネルです。また、九州で多く栽培されていたイチゴ「とよのか」をJRコンテナで長距離輸送したいという要望に応じて、床全体を、免震ゴムマットで浮かせた構造で振動を吸収する免震フロア付きJR冷凍コンテナを開発しました。これによりデリケートな青果、乳製品などのJR輸送が可能になりました。

パターン2は、自社主導の企画開発です。当社では隔年で開催される「東京トラックショー」の出展に向けて、お客様ニーズを先取りした製品、期待を超える製品を自社で企画開発しています。このパターンの開発例では、側面開放型のウイング車で、-25℃の冷凍食品の運搬を可能にする「冷食ウイング・フロスト25」やLEDコーナーライトなどがあります。LEDコーナーライトはもともと冷凍車の断熱性向上と天井の結露防止の目的で企画開発したのですが、展示会では「明るいのでドライバーが庫内検品中、伝票がよく見える」という、当初の目的に加え、意外な反応が返ってきました。自社の開発者には見えていなかったニーズがまだまだ眠っていることに気付いた開発でもありましたが、この“LEDコーナーライト”は大ヒットし、望外な成果を得ることができました。

パターン3は、M & A による外部技術の取得と融合です。当社は2003年に阪急電鉄傘下の冷凍車メーカー「アルナバン」の事業譲渡を受け、滋賀県米原市の工場と営業権を取得しました。その際、引き継いだアルナバン特有のFRPサンドイッチパネルの生産技術と、当社が培ってきた大型パネル技術を融合して、外板FRP・内板アルミ

会社概要

所在地 福岡県糟屋郡新宮町上府北4-2-1
TEL 092-963-2000
設立 1953年11月
従業員数 384名
資本金 4,900万円
年商 117億円(17/3期)
事業内容 冷凍車・保冷車、各種タンクローリ、車輛運搬車、航空機給油車など
特装車の開発・設計・製造・販売
U R L <http://www.yano-body.co.jp>

PICK UP

1916年に創業者の矢野倅一氏が製作した完成当時のアロー号。現在、現存する国産最古の乗用車として、福岡市博物館にて展示保管されています。



優れた保冷性能で、シェアトップクラスの大型冷凍車

